

# 勾配屋根工法

勾配屋根工法は長年培ってきたシングル葺きの技術を最大限に発揮し、意匠性、経済性を重視した軽量型屋根葺き工法です。粘着性を持つ改質アスファルトルーフィングの安全性と耐久性の高さが防水性能を確実なものにします。

## マルエスシングル



日本は地域により、気候の変化も様々で、更に地震が多い事から屋根の荷重に関しては充分な対応を取る必要があります。勾配屋根葺き材として長年用いられている**マルエスシングル**は $12\text{kg}/\text{m}^2$ （日本瓦の約 $1/4$ ）と軽いため、建物の構造材を大幅に節約できます。寸法安定性の良いガラス不織布に耐熱、耐寒性に優れたアスファルトをコーティングしたシングルは柔軟性があり、曲面に良く馴染みます。

## カスタムEE



耐久性、柔軟性に優れた改質アスファルトルーフィングを用いた**カスタムEE**は、ジョイント部分を焙る事により確実な水密性が得られると共に、意匠性に優れ、信頼性の高い防水性能が得られます。ジョイント部に**ディスク**を併用する事により広い範囲の勾配で施工が可能であると共に、耐風性にも優れています。